

ウェルビーイング指標⑥ 客観と主観の二刀流で、実感に届く施策を

高いハードル、でも大きな意義のある挑戦

指標及びその基礎データは、政策判断の基礎となる主要なデータとして、①県民の皆様の実感に届いているかの効果を見る、②県民の皆様の目線から、課題やニーズを可視化していく、③県政の効果的な展開、横連携の促進などに活用していきたいと考えています。

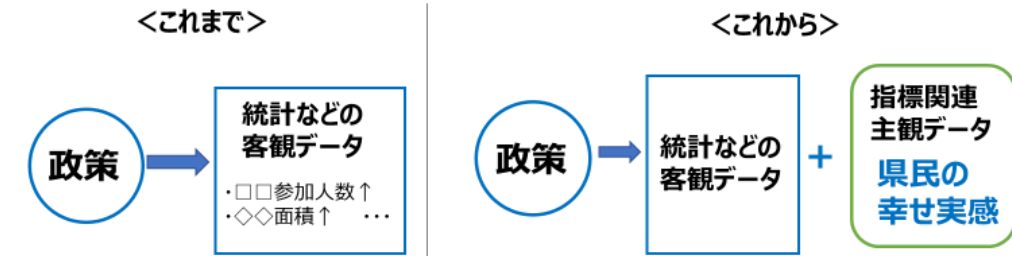
指標では、今まで見えにくかった、多様な県民の皆様の主観的な意識が見えてきます。これまでは、施策の成果として、統計など客観データや事業のアウトプットの状況を重視してきましたが、これに加え、ウェルビーイング指標により、本当に目指すべき“県民の皆様の幸せ実感”に繋がっているのか、アウトカムの視点・意識にもしっかり目を向けることとなります。

また、県民の皆様のウェルビーイング状態から仮説を立て、課題・ニーズを主体的に見つけ、政策に繋げることもできます。

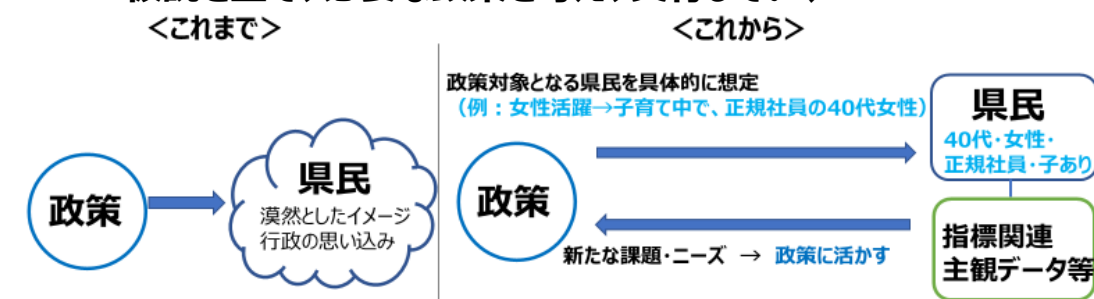
指標及び主観的データを政策に反映していくこと。これは大きなチャレンジです。政策を主観的な面からも評価することは、ハードルがより上がることを意味します。しかし、この挑戦は、県民の皆様のウェルビーイング向上にとっても大きな意義があると考えています。客観・主観の二刀流で、より県民の皆様に寄り添った施策の展開に繋げていくことができると考えています。



① 政策による客観データの改善、アウトプットの状況が、実際の県民実感の向上に繋がっているのか、新たな効果検証の視点を得る

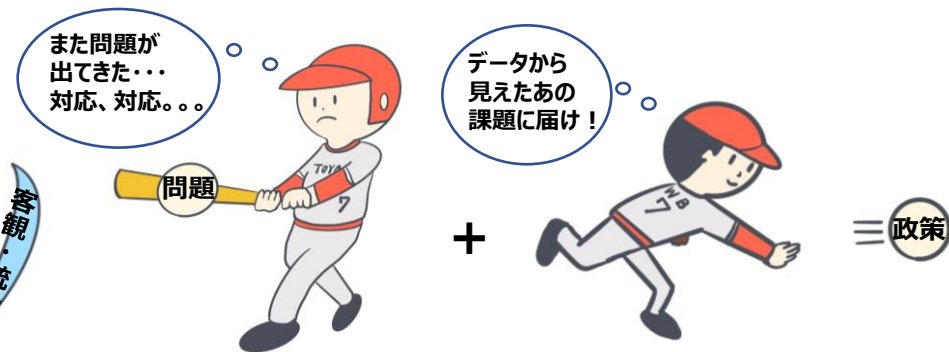


② 政策の対象となる県民を具体的に想定、状態をきめ細かく分析 → 仮説を立て、必要な政策を考え、実行していく



課題やニーズの顕在化に対応して政策を組む

県民目線で課題・ニーズを主体的に見つけ、政策に繋げる



県民意識調査結果 + 富山県ウェルビーイング指標 = 政策

県民